



9月のほけんだより



暑い夏をエネルギーに過ごした子どもたち。そろそろ夏の疲れがでて、体調を崩しやすい時期です。園では、8月、溶連菌感染症に罹ったお子さんがいました。睡眠と栄養、休養を十分とり、生活リズムを整えて残暑を乗りきりましょう。

溶連菌感染症とは

溶連菌感染症とは、溶血性連鎖球菌という細菌による感染症で、喉の痛みを伴う咽頭炎の2割程度がこの菌が原因と言われています。発熱で気付かれることが多く、咳やくしゃみなどでうつります。

<症状>

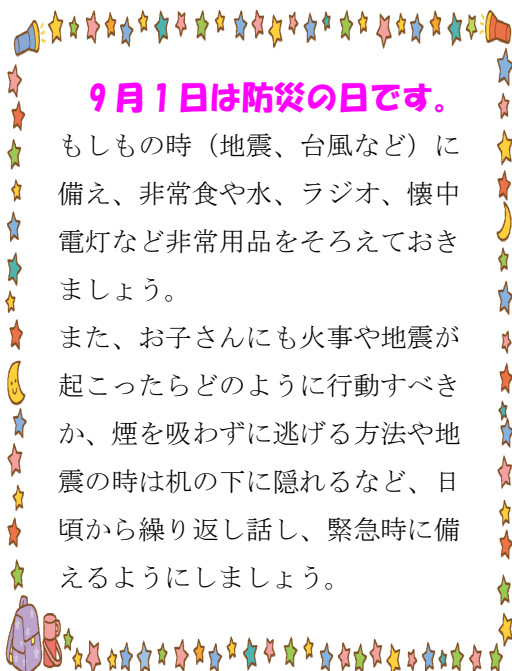
- ・突然高熱が出て、喉が腫れて痛みが出る。
- ・発熱から2~3日経つと、首や胸、手足、足首に粟粒状の発疹が現れて強いかゆみを伴い、やがて全身に広がる。
- ・舌にイチゴ状の小さくて赤いブツブツが出る。
- ・嘔吐、頭痛が起こる。

注意！

症状が落ち着いたからと薬をやめると、急性腎炎やリウマチ熱に罹ることがあります。症状が消えても、医師の指示があるまでは、薬の服用をやめないようにしましょう。

登園のめやす

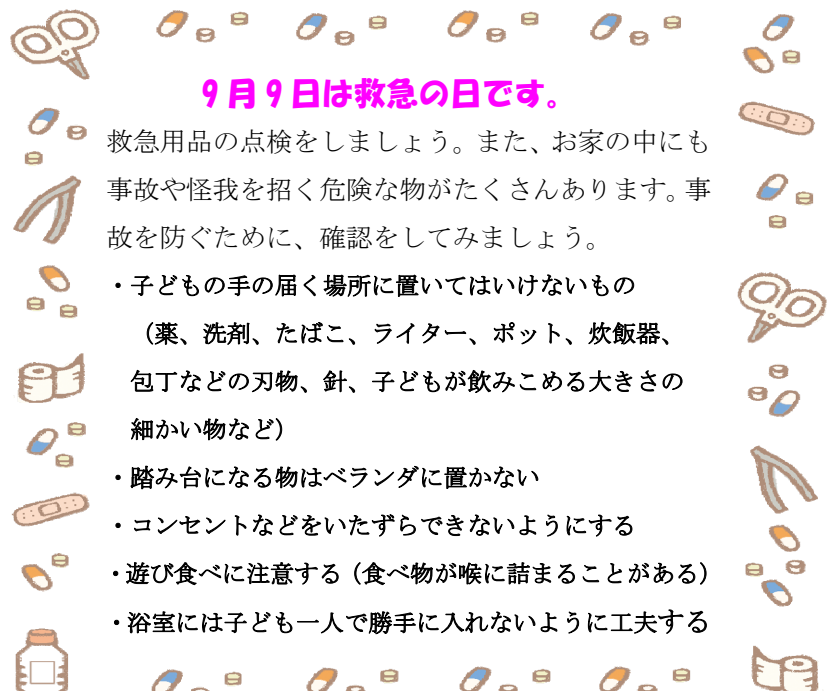
抗菌薬服用開始後24~48時間は登園停止です。医師の判断に従って下さい。登園の際は、園に備えてあります「登園許可証明書」に保護者が記入、捺印し提出して下さい。



9月1日は防災の日です。

もしもの時（地震、台風など）に備え、非常食や水、ラジオ、懐中電灯など非常用品をそろえておきましょう。

また、お子さんにも火事や地震が起こったらどのように行動すべきか、煙を吸わずに逃げる方法や地震の時は机の下に隠れるなど、日頃から繰り返し話し、緊急時に備えるようにしましょう。



9月9日は救急の日です。

救急用品の点検をしましょう。また、お家の中にも事故や怪我を招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

- ・子どもの手の届く場所に置いてはいけないもの
(薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲みこめる大きさの細かい物など)
- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する（食べ物が喉に詰まることがある）
- ・浴室には子ども一人で勝手に入れないように工夫する